



ホームステイの思い出



My Hostfamily in GERMANY

～ホームステイ～

江並中学校1年 大角 桃菜

私のホストファミリーは5人家族で、ハーゼさんのお宅にホームステイさせていただきました。



左側前方・・・私
左側後方・・・フレンドの子 サスキア
中央・・・父 マルティン
右側・・・母 ガブリエレ
写真には写っていませんが、兄ジモン 姉カレン
皆さんには、5日間お世話になりました。

初めて外国に住み、慣れない場所でのホームステイでした。私の心の中には、不安とわくわくの気持ちが交差していました。しかし、ホストファミリーの皆さんが、笑顔で出迎えてくださったので、不安の気持ちはわくわくへと変わってしまいました。

<6日間の思い出>

[1日目] 12時間の飛行機の旅が終わり、ドイツへ着いたらケーニギンシャルロッテ高校へ行って、ホストファミリーとの対面式がありました。初めて家族と対面する日だったので、とてもドキドキしました。対面式の時は、お母さんとサスキアちゃんしかいなかったけれど、笑顔で出迎えてくださいました。

[2日目] 表敬訪問で市役所にあったエレベーターは、ドアがなく、飛び乗って、飛び降りる感じでした。急がないといけないので、はらはらしました。ベンツ博物館には、たくさんの車が展示してあってかっこよかったです。見学後、女子全員でショッピングに行きました。アイスクリームがおいしかったです。

[3日目] ノイシュヴァンシュタイン城へ行きました。シンデレラ城のモデルとも言われているお城は、とても美しく、大きかったです。

[4日目] リッタースポーツチョコレート工場で、チョコレート作り体験をしました。ヴィルヘルマ動物園には、サルがいっぱいいました。

夜は、高校で懇親会がありました。合唱は『ふるさと』を歌いました。私は書道を披露して、『初夏清泉』と書きました。女子全員で踊ったダンスはとても緊張したけれど、大きな拍手をいただいてとてもうれしかったです。

[5日目] ホストファミリーと過ごす終日は、遊園地へ行きました。ジェットコースターばかりで、楽しかったです。ホストファミリーとの、よい思い出が出来ました。

6日目の朝にシュツットガルト空港に行って、ホストファミリーとお別れしました。皆さんの笑顔が温かったです。



みなさん、ありがとう

～ホームステイ～

興文中学校 1年 奥田 結衣

ホストファミリーのみなさんには、5日間という長い間すごくお世話になりました。私も初めての海外でしたし、言葉も通じないし本当に大丈夫かなという不安な気持ちで日本を離れました。

ドイツに到着し対面式の時、初めてホストファミリーとお会いしました。すごく優しい方々で私もホッとしました。私がお世話になったトゥラウネッカーさんのお宅は、お父さん、お母さん、ホストフレンドとしてずっと一緒に活動してくれたナオミ、弟のヤンの4人家族でした。家は3階建ての白壁のかわいい家でした。絵本の中に出てきそうだなと思いました。家の庭はとても広く、食べられる実がなる木がとてもたくさんありました。それは、プルーンやりんご、ブラックベリーなどです。食べさせてもらおうと、とても甘くておいしかったです。私の家にもこんな庭がほしいと思いました。



お母さんは毎日出かけるときにお弁当を持たせてくれたり、おいしい晩御飯を作ってくれたりなど、すごく気を使ってもらいました

ナオミとも最初は緊張していたこともあって、あまりコミュニケーションがとれなかったけれど、日本のアニメやジブリ映画の話、コスプレの話など共通の話題でたくさん話げができました。また私が持って行ったおみやげの説明や、実際に一緒に折り紙をおったり、書道をおこなったりして楽しみました。ナオミは日本人にもよくある名前なので、漢字を作ってあげました。「奈緒美」というなかなかかわいらしい漢字をあてました。ナオミも喜んでくれて一緒に漢字の練習もしました。



最終日には他の子たちも一緒に遊園地に行き、ジェットコースターなどに乗ったり、買い物をしたりしました。そこでナオミがなにかプレゼントをしてくれると言ってくれました。すごく悩んで、ドイツの風景の絵のジグソーパズルを買ってもらいました。ほかにもホストファミリーのお父さん、お母さんからたくさんのおみやげをいただきました。

パズルは完成したら私の部屋に飾っておこうと思っています。終わってみると本当にあっという間の5日間で、別れ際はとても寂しかったです。絶対に忘れられない大切な思い出と新しい友達ができました。またいつか再会できたら嬉しいです。最後にホストファミリーのみなさんに心からありがとうと言いたいです。



ホストファミリーと過ごした5日間

～ホームステイ～

西中学校1年 松井 勇樹

ぼくが、5日間お世話になったホストファミリーは4人家族でした。

初めてホストフレンドと会った時、言葉が通じるかとても不安でした。でも、彼は日本語を思ったより話す事ができました。日本から持って来たお土産を渡しながお互いに分かる言葉を探し、コミュニケーションをとる事ができました。



2日目の夕食はバーベキューでした。見たこともない肉や野菜、その大きさや種類、初めて体験する味に驚きました。ぼくは日本から持って来た「餅」を焼きました。

ホストファミリーは初めて餅を食べて、とても気に入ってくれました。餅がお米から出来ている事、そしてすごく伸びる事に驚いていました。

3日目、おやつの時にチーズ、オリーブ、ポテトチップスなどを食べながら、一日の出来事を話しました。ドイツ語が分からないぼくの話を生懸命聞いてくれて、初日より積極的に話す事ができました。その後、親戚の方が犬を連れてきてくれました。その犬はとても賢く、初対面のぼくを嫌がらずに遊んでくれました。夕食後、犬の散歩に出かけました。夜の8時を過ぎていたのに空はまだ明るく、気候が良くてとても気持ちがよかったです。

4日目、ホストフレンドとゲームをしました。日本と同じゲームソフトがあり、懇親会の集合時間を忘れるほど楽しく遊びました。懇親会では他の団員のホストファミリーとも交流できました。ぼくは「けん玉」を披露しました。ホストフレンドにもけん玉をプレゼントして、技を教えました。彼は上達が速く、けん玉の楽しさを知ってもらえました。そのあと、団員とホストフレンドみんなでサッカーをしました。言葉が通じなくても楽しめるスポーツは最高のものだと思います。

5日目、プールに行きました。広いプール、大きなスライダー、3mの飛び込み台、海水プールなど様々な種類がありました。午後は親戚の誕生日パーティーに参加しました。たくさんの方が集まり、屋外でバーベキューをしながら大人の誕生日を祝う事に驚きました。帰りの車でお母さんに「明日は寂しい」と言われ、ぼくは今夜が最後なんだと思い悲しくなりました。

別れの日、家族が空港まで送ってくれました。ホストファミリーと何回も握手をして、挨拶をしました。寂しくてもっとここに居たいと思いました。ぼくは、何度も後ろを振り返りながら、空港のゲートをくぐりました。初めてドイツに着いた時の不安は、この5日間で楽しい思い出に変わっていました。

ドイツ人との交流を通して学んだこと

～ホームステイ～

上石津中学校1年 三宅 唯介

僕のホストフレンドの名前はダヴィットさんです。英語で、「DAVID」と書くので「デイヴィット」かと思いましたが、ドイツの読み方はダヴィットだそうです。家族構成は、ダヴィットさん16歳とダヴィットの母スーザンさん52歳、ダヴィットさんの父ウルフさん53歳の三人家族です。お父さんは、仕事の関係で別居していますが、同じシュツットガルトに住んでいるそうです。

対面式はすごく緊張して頭が真っ白だったけど、ダヴィットは優しく接してくれて家への道中でも会話が弾みました。二日目の日も、たくさん話しました。僕の英語が間違っても、笑ってくれるそのやさしさがうれしかったです。その日の夕食で、一番心に残っている食べ物は、ソーセージです。ドイツではじめて食べたソーセージは、格別でした。

3日目もダヴィットと観光して早めに家に帰って来ました。帰ってくると、ウルフさんがいました。突然のサプライズでびっくりしたけど、とてもやさしい人ですぐに仲良くなりました。お父さんは、僕と会ったばかりなのにお茶を入れてくれたりして、とてもやさしかったです。その時にお土産のはしを渡して、使い方を教えてあげたりして楽しく過ごせました。

最終日は、午前中プールに行き遊びました。日本にはないすごく怖い絶叫系もあって、びっくりしました。夜帰ったのは9時頃でしたが、ドイツで有名なボードゲームをしました。ゲーム中、僕に「お茶は飲みたいですか？」と聞いてくれ、「Yes」と答えると、「日本の味がいいと思って、緑茶にしました」とすぐに温かい緑茶を用意してくれました。僕は、ドイツに着いてからお茶が恋しくて恋しくて仕方がなかったので、僕の気持ちを分かってくれているようでうれしかったし、本当にやさしいと思いました。

僕が、ドイツに行って一番心に残っているのは、やさしさです。何度もやさしいと書きましたが、会って間もない僕に対して、ものすごく気を配ってくれました。紹介したやさしさ以外にも、たくさんやさしさがあります。たとえば、僕が飲み物を買うのを忘れた時に、ダヴィットが僕に水筒を渡してくれて、その後、かばんにしまおうとしたら、「重いから僕が持っていくよ」と言って持ってくれたこと、ドイツの歴史をわかりやすい英語で教えてくれたこと、などです。僕がこれから、まねしていきたいやさしさばかりです。日本に帰ったら、行く前以上にみんなに気を配れるように心がけていきたいです。

また今回、英語を通して、自分が最大限にできるコミュニケーションがとることができました。これから、さらに日本とドイツとの交流を深められるように、頑張りたいです。



もう一つの家族

～ホームステイ～

赤坂中学校2年 伊藤 理沙

私は、フロム家に5日間お世話になりました。お父さんのマンフレッドさん、お母さんのタチャーナさん、そして、私のパートナーのアリーナさんの3人家族でした。家族の皆さんは、笑顔で迎えてくれました。

私にとって、海外に行くことも、ホームステイをすることも、初めてだったので、とても不安で、緊張していました。でも、家族の方が、明るく声をかけてくださったり、気遣ってくださったおかげで、ホストファミリーと楽しい時間を過ごすことができました。日本からのお土産で、扇子と風鈴、しおり、付箋などをもっていったのですが、どれもとても喜んでくださったので嬉しかったです。



ホームステイさせていただいた日は、平日が多かったので、ご両親は朝早くから仕事に行かれてしまい、なかなか会うことができませんでした。でも、夕食には間に合うように帰ってきてくださって、家族みんながそろって食べることができました。朝食は、ヨーグルトやドイツのパンであるプレッツェルなどをいただき、夕食はソーセージや南ドイツ名物のパスタにチーズをかけて焼いたシュペッツレ、郷土料理であるマウルタッシェンなど、ドイツならではのものを食べるのが嬉しかったし、美味しかったです。

パートナーであるアリーナさんとは、空き時間に一緒にワンピースのアニメを見たり、日本で知られている漫画を読んだりしました。アリーナさんの、部屋には、日本のアニメや漫画、他にも扇子や習字などが飾られていて、本当に日本のことが好きで、日本の文化を知ろうとしているのだと実感しました。

5日目は、ホストファミリーと過ごす最後の日だったので、ドイツの中でも有名な遊園地に行き、他の派遣メンバーと合流しました。色々なアトラクションに乗ることができたことと、ホストフレンドたちとたくさん話げできたことがとても嬉しかったです。また、遊園地の後に、家族のみんなが、「銀座」という日本・中国料理を主としたアジアレストランに連れて行ってくれました。味噌汁や寿司など、日本の食べ物を、家族のみんなと食べることができました。

そして、「まだ、家族のみんなとお別れしたくない。」という気持ちで最終日を迎えました。家族みんなが、空港まで見送りに来てくれました。お互いの姿が見えなくなるまで手を振り、別れました。ドイツの生活にも慣れて、みんなと仲良く慣れたのに・・・「まだ日本に帰りたくない。」という気持ちが大きかったです。5日間という短い間でしたが、今までにない充実した交流になったと思っています。そして、私を快く迎えてくださった、フロム家と出会えたことに、心から感謝をしています。

MY best family in Germany

～ホームステイ～

星和中学校2年 高山 紗希

私がホームステイしたのはタティドゥさん一家で、フレンドになってくれたのはイスミニという笑顔が可愛い女の子でした。

この5日間のホームステイは私にとって一番貴重な体験になりました。

イスミニの家族はギリシャ人のお父さん、お母さん、お姉さんが二人とお兄さんが一人の6人家族です。お兄さんは家にいなかったの顔は合わせていません。けれど、お姉さん二人にも優しく出迎えられて、とても安心したのを覚えています。

初めはやっぱり緊張で固まってしまって、みんな直立不動で立っていたのは、思い返すと少しおもしろかったです。少しずつ会話をしているって日本との違いをみつけました。それは頭を下げるということです。日本人は会釈をしますが、イスミニ達にはそのような習慣はありません。

長女のイリーニがそれを見て、

「サキ、そんなに頭を下げなくていいわ。日本の文化だって知っているし、私はその行動は日本らしくって好きだけど、ここではしなくてもいいのよ。」

と、英語でこのような感じの事を言ってくれました。ちょっとした日本人の特徴に気づいた瞬間でした。

私が家にいて一番楽しかったのは二人で色々な話しをする時間でした。

私はイスミニと同じ部屋で隣同士で寝起きしていたので、だいたいはイスミニ達の部屋にいました。

毎晩寝る前におしゃべりして、長いと1時間以上話したりして時間を忘れてしまいました。

ステイ最終日はドイツの遊園地に連れて行ってもらい一緒にたくさんのアトラクションに乗りました。空中ブランコでのツーショットの写真はわたしのお気に入りの一枚です。

家に帰った後、イスミニと一緒にフェアリーテールというアニメを見ました。英語字幕が出ていたのでそれを見て理解していました。

イスミニは、アニメも好きなので漫画も持っていたし、自分で描いたと言ってみせてくれた絵もとても上手でした。この後もダンスを披露してくれて、日本に対する関心の強さに驚きました。

また、最後の記念に制服を着てもらいました。

「Try?」

と聞くと、跳び上がってわくわくしていました。制服がドイツにはないのでとてもうれしそうに着ていました。

「ありがとう。」

と日本語で言われた時は少し照れくさかったです。

翌日の空港では、涙の別れになりました。泣くつもりなんて無かったのに、自然と涙が溢れてしまいました。

最後に別れを告げてねと言われた時は泣きながらお互いに駆け寄ってぎゅっと抱きしめ合いました。

ここには書ききれないほどのたくさんの思い出があります。

イスミニ、そしてお父さん、お母さん、お姉ちゃん、本当にありがとう！！



ホームステイした6日間

～ホームステイ～

赤坂中学校3年 桑原 宏太

僕がホームステイさせていただいた家族は、ホストフレンドのラモンとラモンの両親の3人家族でした。家族で家事を分担し助け合う姿が多くありとても仲の良い家族でした。

初日は、午後5時位にシュツットガルトに到着し対面式を行いました。その後、ホームステイ先に向かう途中に何度も「のどが渇いてないですか？」などきいてくれました。家に着くとラモンが家のなかを案内してくれました。

2日目は、学校見学・表敬訪問の後ベント博物館に行きました。学校見学では、日本とは違う授業の様子を見る事が出来ました。また、ほかのホストフレンド達とも自己紹介をして、お手玉を使ったゲームをして仲を深める事が出来ました。解散した後では、三宅君と2人で2人のホストフレンドに【日本の遊び】ということで「おにごっこ」と「だるまさんが転んだ」を教えて一緒に遊びました。2人とも、気に入ってくれたので良かったです。

3日目は、ノイシュヴァンシュタイン城に行きました。チケットセンターから片道40分歩いて行きました。お城を建てたルートヴィヒ2世についてやお城の歴史について知る事が出来ました。家に帰ってからは、日本から持ってきた扇子や手ぬぐい・お菓子・味噌汁・お米などのお土産を渡しました。どのお土産もきにしてくれたのでうれしかったです。

4日目は、リッタースポーツのチョコレート工場とヴィルハイマ動物園に行きました。移動の電車の中では、ラモンにドイツの電車について教えてもらいました。チョコレート工場では、チョコ作りをしました。チョコだけではなくチョコをいれる箱も自分で作り、オリジナルのチョコを作れました。動物園の中には、歴史のある建物もありました。見る人が楽しめる工夫やゆっくり見ることができるよう色々な工夫がされていました。日本では、見た事のない動物もいくつか見る事が出来ました。

5日目は、ホストファミリーと一日過ごす日でした。午前中は、森の中を散歩したり、買い物をしたりした後、理科の先生であるお父さんに教えてもらいながら実験をしました。午後からは、三宅君達とゴーカートに乗りました。ゴーカートはとても速くて操作が難しく慣れるまでに時間がかかりました。

6日目は、ホストファミリーとお別れの日でした。朝、空港まで送ってもらいました。5日間お世話になったお礼を言ったり記念撮影をしたりしました。ゲートを通った後もぎりぎりまで手を振っていました。



My Treasure Memory

～ホームステイ～

南中学校3年 矢野 愛香

私がホームステイしたのは、ショッヒェさんの家でした。

お母さんが日本人でお父さんはドイツ人、ホストフレンドの子はハーフでした。そのため、初日は殆どの会話が日本語でした。しかしホストフレンドの子とは英語での会話もしました。また、趣味であるピアノも一緒に弾きました。

2日目は他のホストフレンドとの交流がありました。他の子と話す時はやはり英語でした。だから少し難しかったけど、他の言語で会話することの楽しさも知りました。お手玉を使ったゲームや、その人たちとの会話の中で全員の名前を覚えることが出来ました。この日は、ドイツの高校の見学もあり、私は生物の授業を受けました。目の前にカタツムリを置かれ、少し躊躇いもありましたが隣の男の子が英語でゆっくり教えてくれて、何をしているのかを理解できました。また、夕方は女子でショッピングに行きました。そこで女子みんなと仲良くなれました。日本の31アイスクリームのような店もあり、アイスを皆で食べました。その後は、洋服を見てとても楽しかったです。

次の日は、ノイシュヴァンシュタイン城へ行きました。これは、バスでの移動だったため、ホストフレンドではない子ともたくさん話せました。アニメやKポップ等のことでとてももりあがりました。その日の夕食でお酢に漬けたキャベツの様なものが出されました。ドイツ独特のご飯を食べることが出来、いい体験をさせてもらえました。

4日目は、リッタースポーツというチョコレート工場と動物園へ行きました。チョコレートの作り方を学び、ホストフレンドの子たちと入れ物をデザインして、沢山話をしました。この日の夜、懇親会がありました。来た人からボールを使って遊び、最終的には全員で遊びました。夕食では、日本でいう餃子の様なものが出され、とても美味しかったです。ホストフレンドの子が作ってくれたデザートは、とても綺麗で、プロが作ったみたいなので、ドイツの女の子は凄いと思いました。日本人皆で考えた出し物も皆うまく出来、成功し、ドイツの子も喜んでくれたので嬉しかったです。懇親会終了後、皆でサッカーをしたり、私たちのやったダンスを教えてあげたり、一緒に踊りました。

最終日は女子全員で遊園地へ行きました。日本には絶対有り得ないほど、急なジェットコースターがあり、皆は楽しそうでした。その後、私のホストフレンドと二人でマフィンと一緒に作りました。夕食は、バーベキューをし、とても美味しかったし、またデザートで出してもらったお母さん特製のドイツのプリンが甘くて、日本とは違いました。

お別れをする日、私たちは抱き合ったり、泣いたりしました。それ程、楽しく、良いホームステイでした。このホームステイでの経験は、私にとっての宝物です。



第10回大垣市中学生ドイツ・シュツットガルト市研修派遣事業
研修スケジュール

＜事前研修＞		場所
第 1 回	6月21日(土) 13:30~15:30 <ul style="list-style-type: none"> • 自己紹介 • 事務局、旅行社からの説明 	スイトピアセンター 男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 2 回	6月29日(日) 13:30~16:30 <ul style="list-style-type: none"> • ドイツについて・ドイツ語練習 • アトラクションの決定・打合せ 	スイトピアセンター 男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 3 回	7月5日(土) 9:30~16:00 オーストラリア派遣団と合同研修 <ul style="list-style-type: none"> • 国際交流について(もし世界が100人の村だったら) • アトラクションの練習 • 出発式について 	スイトピアセンター 学習室3-1 (学習館3階)
第 4 回	7月13日(日) 9:30~16:00 <ul style="list-style-type: none"> • 先輩団員との交流 • ドイツ語練習 	スイトピアセンター 男女共同参画活動室 および自治会室 (共に学習館4階)
出 発 式	7月13日(日) 16:00~19:30 (式本番 16:30~17:00) (打合せ 17:30~19:30) <ul style="list-style-type: none"> • 渡航に関する手続き確認 • 現地へ持参する土産の分担 	スイトピアセンター 学習室3-5 (学習館3階) 式本番は男女共同参画活動室 (学習館4階)

派遣期間	7月22日(火) ~ 7月29日(火)
------	---------------------

＜事後研修＞		場所
第 1 回	8月3日(日) 13:30~16:00 <ul style="list-style-type: none"> • 報告パネル、報告書等の資料作成 	男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 2 回	8月24日(日) 9:30~16:00 <ul style="list-style-type: none"> • 報告パネル、報告書等の資料作成 • 報告会の練習 	男女共同参画活動室 (学習館4階)

報 告 会	11月3日(月・祝) 13:30~15:30	男女共同参画活動室 (学習館4階)
-------	------------------------	----------------------

Leonardo Royal



【第10回大垣市中学生ドイツ・シュツットガルト市研修派遣 報告書】

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会

〒503-0911

大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階

TEL 0584-82-2311

FAX 0584-82-2314

URL <http://www.i-oiea.jp/>

Eメール oiea@mb.ginet.or.jp

作成／平成26年10月

